

令和6年12月13日(金)午前9時から和木町役場議事堂において、第6回和木町議会定例会を再開する。

○出席議員(10名)

1番	三分一 淳	
2番	明本光 弘	
3番	津島宏 保	
5番	嘉屋富 公	
6番	上田丈 二	
7番	嘉屋富 公	
8番	灰岡裕 美	
9番	小林秀 嘉	
10番	森脇明 美	副議長
11番	兼本信 昌	議長

○説明のため出席した者

町長	米本正 明	
副町長	田中雅 彦	
企画総務課長	渡邊良 平	
税務課長	坂本啓 三	
住民サービス課長	上村克 司	
都市建設課長	山下純 二	
保健福祉課長	鳥枝 靖	
教育長	重岡良 典	教育委員会
事務局長	松井敏 浩	〃

○会議に従事した職員

事務局長	吉岡 司
書記	田尾 恵

開 議 会 長	9時00分 おはようございます。 携帯電話お持ちの方は、電源をオフにされるようよろしくお 願いたします。
議 長	これより本日の会議を開きます。 本日の議事日程は、お手元に配布してあるとおりです。
議 長	日程第1 一般質問を行います。 質問の通告が5名です。通告順に質問を許可いたします。 質問順位1番 5番議員 嘉屋富公議員。
議 長	嘉屋富公議員。
嘉屋議員	おはようございます 嘉屋富公、通告に従い質問させていただきます。 令和5年8月着工で令和6年3月末完了のコミセン外壁改 修工事、当初予算8,712万円で調査後310、失礼しました 813万6千円を追加し、合計金額9,525万6千円で締結し たが、今年の11月2日から3日にかけて降った警報的な雨に より、隣の大竹市では地域によっては警戒レベル3,4が発令 されました。それによって3階大ホールにて雨漏りが発生し、 バケツに約5cmぐらい溜まったと聞いています。 和木町では第一避難所としているが、このままで大丈夫なの か大変不安に思い質問いたします。 具体的な質問です。この度の外壁改修工事前の状況はどうだ ったのか、雨漏り等は報告を受けていましたか。
議 長	松井教育委員会事務局長。
松 井 教育委員会	はい。お答えいたします。 まずコミュニティセンターでございますが、昭和56年に建

事務局長 設され、平成6年度保健相談センターなどの部分を増築いたしました。この間屋上の雨漏りございます。その都度、修繕、清掃などを行ってきたというふうにも聞いております。平成21年度、耐震化工事の際にコミュニティセンター屋上の防水工事を行っており、以降は雨漏りがあれば部分的な修繕、及び清掃等を行ってきております。

令和元年度以降におきましても、図書館テラス出入口付近や1階玄関付近、3階集会室において複数回雨漏りを発見し、バケツを置くなどの処置をとると共に、令和2年度には、3階集会室の屋上部分の部分的な修繕、それから令和5年4月においても雨漏りがありましたことから、屋上排水溝の苔等の除去を行っております。この除去作業以降、壁面改修工事期間中ですね、昨年度大雨等なく、雨漏りはございませんでした。

その後、ご質問にありましたとおり、11月に、の台風でございます。この時の雨量、この期間の雨量2日間でございますが、229ミリということでございますが、この時、雨を確認しております。この報告を受け、連休明けの11月7日、担当職員が屋上を確認したところ、排水溝に袋状のもの、及び土砂等が堆積しておりましたので、排除いたしました。以降これまでに雨漏りは確認していないとの報告を受けております。

議長 嘉屋富公議員。

嘉屋議員 はい。今の答弁によりますと、雨漏りは以前からあったということで解釈してもよろしいでしょうか。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長 はい、嘉屋議員さんの言われるとおりました。

議長 嘉屋議員。

嘉屋議員　この度ですね、外壁工事、約1億円っていうお金を掛けてます。今回の雨漏りに対して工事の際にですね、クラックやジョイントに対して、まあこれ専門用語なんですけど、エポキシ樹脂っていうものを注入してですね、こういったあの雨漏りに対する処理はしなかったのかお伺いします。

議　　長　　松井局長。

松　　井　　昨年度の外壁改修工事でございますが、躯体の躯体面のクラック、ひび割れ補修に関しては、タイルを一部撤去した上で自動低圧エポキシ樹脂注入工法にて補修を行っております。また、打継目地部、これはコンクリートの目地の部分でございますが、そういった所についてはシーリング剤、建築用のシーリング剤にて防水処理を行っております。

議　　長　　嘉屋議員。

嘉屋議員　はい。この度ですね、こういった雨、雨漏りがあったということで、今後です、また新たにです、足場を組んで工事を行うとなると費用が嵩むと思いますが、今後はどういうふうな考えをされてますか。

議　　長　　松井局長。

松　　井　　今後、雨漏りをどのように対応していくかということでございますが、屋上防水工事につきましては、足場を組む必要はないのかなというふうに私は考えております。ですので、その費用は、足場を組む費用は不要というふうに考えております。

また雨漏りに対する対策といたしましては、定期的に屋上の排水溝の清掃を行うと共に、必要であれば修繕を行っていきたいというふうに考えております。

また、今後全面的な改修工事が必要となる時期も到来いたし

ます。町全体の財政状況にも注視をしながら、適切に対応していきたいというふうに考えております。

議 長 嘉屋富公議員。

嘉屋議員 はい。それでは最後に町長の方にお伺いします。まあご存知のとおり雨漏りというのは、時が経てば経つほどひどくなります。第一避難所としているコミセンですが、今後どのように対応していくのか、財政を考えながら町長の考えをお聞かせください。

議 長 渡邊企画総務課長。

渡邊企画総務課長 すいません、避難所の指定、運営に関わることで、企画総務課の私の方からお答えさせていただきます。

ご存じのとおり、コミュニティセンターは、当面の危険を避けるための早期避難所、又は被災された方の滞在型の施設として、町内公共施設の中で最初に開設される避難所でございます。避難を希望される方が来られたときには、まあ一階から各階の会議室・集会室・幼児読書室・学習教養室・ホワイエをその避難者の状況に応じて、収容先として割り当てることとなります。その際、三階集会室が雨漏りで使えるスペースが少ないですとか、全く使えないということであれば、別の部屋に滞在していただきますし、コミュニティセンターの収容人員、可能人員を超えそうなときには、別の避難場所を開設することになります。

議 長 米本町長。

米本町長 嘉屋富公議員の、コミセンの雨漏りに対して今後の対応はとのご質問にお答えをさせていただきます。

先程、担当課長より避難所としての対応はお答えをさせていただきましたので、お答えさせていただきましたけども、避難

所に限らず雨漏りは各所管部署において適切に対応をしていると考えております。

しかしながら議員もご承知の通り、雨漏りはその原因が判れば修理も容易に行うことができますけども、多くの場合「たぶんここだろう、ここが原因だろう」と修理をいたします。しかし直ったと思ってもまた雨漏りをすることもございます。

また、原因が一つではなく複合的に起こる場合もあり、また雨量や風の向き・強さによっても起きる、起こらないがあり、完全に修理するのは難しいものであるというふうに思っております。

ほぼ完全に対応していこうということ、対応していこうと思えば、多額の費用をかけ、その都度、防水なり、屋根なりをやり直していくことしか考えられないというふうに思っております。全くコストパフォーマンスに合いません。

いずれにいたしましても、出来る事はやってまいりますのでご理解をいただければというふうに思っております。

議長 嘉屋富公議員。

嘉屋議員 はい。町の意向の方わかりました。ただ、まず第1避難所となっていますので、まあそういった対応の方、今後よろしくお願ひして、町民の安全安心を考えての行動をよろしくお願ひしたいと思ひます。よろしく検討をお願いします。

以上で質問を終わります。

議長 再質問がないようですので、以上で嘉屋富公議員の一般質問を終わります。